

ヘビイチゴ (蛇莓)

名前の意味^{いみ}：ヘビの出そうな所に生えるので、ヘビの食べるイチゴ
という意味で名付けられた。

分類：双子葉類、バラ科、ヘビイチゴ属

(バラ科の栽培植物^{さいばいしょくぶつ}：サクラ、ウメ、オランダイチゴ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、田んぼのあぜ

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生^{じせい})

特徴：地面をはうつる、三小葉からなる葉、黄色い花、赤いイチゴ
のような「実」。

種子の運ばれかた：鳥や獣^{けもの}に食べられる

花弁の数：離弁^{りべん}、5裂^{れつ}

花の時期：4 - 5月

食べ方：「実」(本当は花托^{かたく}という部分)は食べられるが、甘くない

見分け方：ヤブヘビイチゴは葉が大きくて色が濃く、イチゴの「タ
ネ」(本当は果実)の部分につやがある。キジムシロの仲間はイ
チゴのような「実」にならない。

見つけやすさ ★★

見分けやすさ ★★★

総合難易度^{そうごうなんいど} ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)